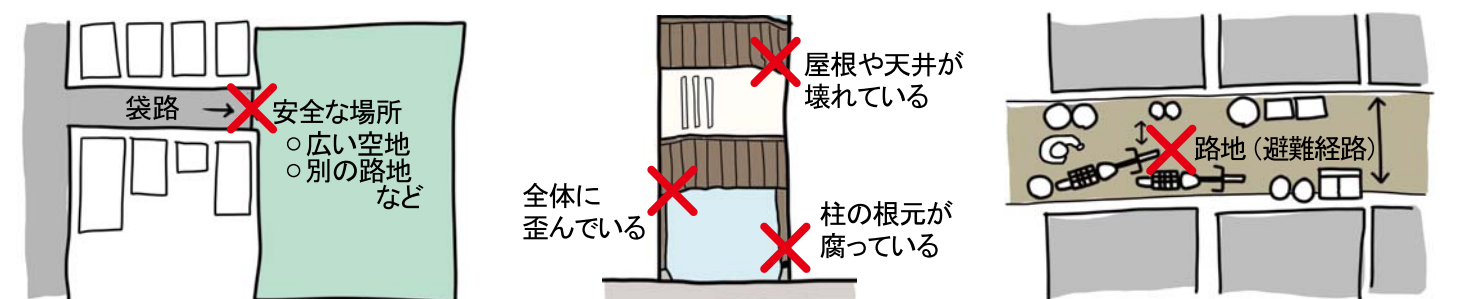


- ・細部にわたり、路地の奥が見られ、分かりました。
- ・地域のことがよくわかってよかった。
- ・問題のある場所の解決方法を話したい。
- ・普段の消防団活動では夜間にしか見ない場所もあったので、新しい発見もあり、役立った。
- ・なかなか私たちだけではできないことが多い中、行政の協力のもと、かなり中身に切り込めたと思います。
- ・こんなに危なそうな所にお住まいでいいのかと思える所がけっこうあったと思います。今の雰囲気を守らず、防災上の備えがしっかりしていけるといいと思いました。

防災まちあるきを通じて見えてきた3つの課題

4回の防災まちあるきを通じて、当学区には幅の狭い路地が多く、これらの路地は、災害時には住民の命を守る避難経路となることをあらためて確認することができました。意見交換の中では、栗田学区では、以下の3点が多く見られる課題であることが共有されました。もしものときに備え、路地を再点検して、適正管理につとめましょう！



災害時の2方向避難経路を確保することができれば、避難距離の長い袋路でも安全性が高まります。

入口がトンネル状の路地。トンネル部分が崩れると逃げられませんか。路地内のブロック塀とあわせて耐震化等安全性を高めましょう。

路地(避難経路)に置かれた物置や自転車等は避難の妨げとなります。私物の適切な管理は、避難経路の確保につながります。



栗田学区で

安全性の向上が進んでいます

またまた

土居之内町 トンネル路地が耐震・防火改修で安全性が高まりました！

土居之内町のトンネル路地では、側面、上部を改修し耐震性能と防火性能が高まり、安全性が向上しました。なるべく自転車を路地奥に置くなど、災害時の避難経路の確保にも配慮されています。

前

後

天井・壁の防火改修

梁の補強

避難誘導灯(補助対象外)

この制度を活用しました！

自転車はなるべく路地奥に置く

袋路始端部における耐震・防火改修事業
補助額：最大 80 万円～ 250 万円（全額補助）
問合せ：京都市都市計画局まち再生・創造推進室
電話：075-222-3503
※今回は袋路等の入口のトンネル部分の耐震・防火改修工事に活用（上限 150 万円）

栗田学区

発行：栗田自治連合会・栗田自主防災会・白川まちづくり協議会
協力：京都市都市計画局まち再生・創造推進室 公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター 街角企画株式会社

第3号
令和4年
1月発行

防災まちづくりニュース

危険箇所等の点検活動と話し合いを重ねてきた栗田学区の「防災まちづくり」。新型コロナウイルスの緊急事態措置が解除され、**防災まちあるきは、第4、第6、第7ブロックについて実施**し、概ね学区全体の路地を確認することができました。さらに、この間、土居之内町では、**路地入り口のトンネル部分の耐震補強など、安全対策が実施**されました。

今年からは、この紙面で取り組みを知っていただきながら、広く住民のみなさんの意見を募り、防災まちづくり計画に反映するために、**全世帯を対象としたアンケート調査を実施**します。「課題と資源を知り」「解決策を話し合い」「安全なまちづくりに取り組む」という、防災まちづくり活動の大切なステップとなります。ご協力よろしくお願いします。



アンケートへのご協力をお願いします！



「防災まちづくり計画」の策定に向けて、**全世帯から意見をお聞きする「栗田学区防災まちづくりアンケート」を実施**します。アンケートは1月15日（土）までに配布しますので、各世帯でご記入のうえ、組長（班長）様に**1月30日（日）までにご提出**ください。

その後、**アンケート結果の報告会、防災まちづくり計画策定に向けた意見交換会などを実施**する予定です。皆様のご協力のもと、栗田自治連合会、栗田自主防災会、白川まちづくり協議会が連携し、行政、まちセン、専門家などの協力も得ながら取り組みます。

引きつづき、安全で安心できる地域づくりに向けて、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。



防災まちづくりアンケートは
1月30日（日）×切！

スケジュール（予定）

※ 新型コロナウイルス感染症等の状況により変更となる場合があります。

令和4年 ～1月30日	栗田学区防災まちづくり アンケート実施
春ごろ	アンケート結果報告会 意見交換会
春以降	防災まちづくり計画策定に 向けた意見交換会など
防災まちづくり計画策定	

第3・4回 防災まちあるき開催！

学区内の8つのブロックのうち、10月10日（日）に第4ブロックを、11月7日（日）に、第6、第7ブロックを対象に防災まちあるきを実施。自治連合会、自主防災会、白川まちづくり協議会、そして、対象ブロックの町内会長など延べ約30名が参加し、学区内の路地を中心に点検しました。

京都市から粟田学区の災害時の危険性とその対策、助成制度についての説明を受けた後、2つのブロックにわかれてまちを点検。路地の行き止まりや道幅、地域内の課題箇所などを確認し、町内会長を中心に意見交換しました。一方、京町家の連なる街並みや白川沿い、丁寧に管理された石畳やお地蔵さんのある路地などは、大切な街並みであることを確認。終了後は、お住まいの方の意見をふまえてブロックごとに意見交換。老朽化したトンネル路地の改善が進んでいる一方で、危険なトンネル路地やブロック塀、空き家などが存在し、耐震補強などの対策が必要などの意見がありました。これらの意見をふまえて、今後の進め方についても意見を交わしました。



市から密集市街地の防災対策について説明

町内会長等の案内のもとまちを隅々まで確認

ブロックごとに結果報告

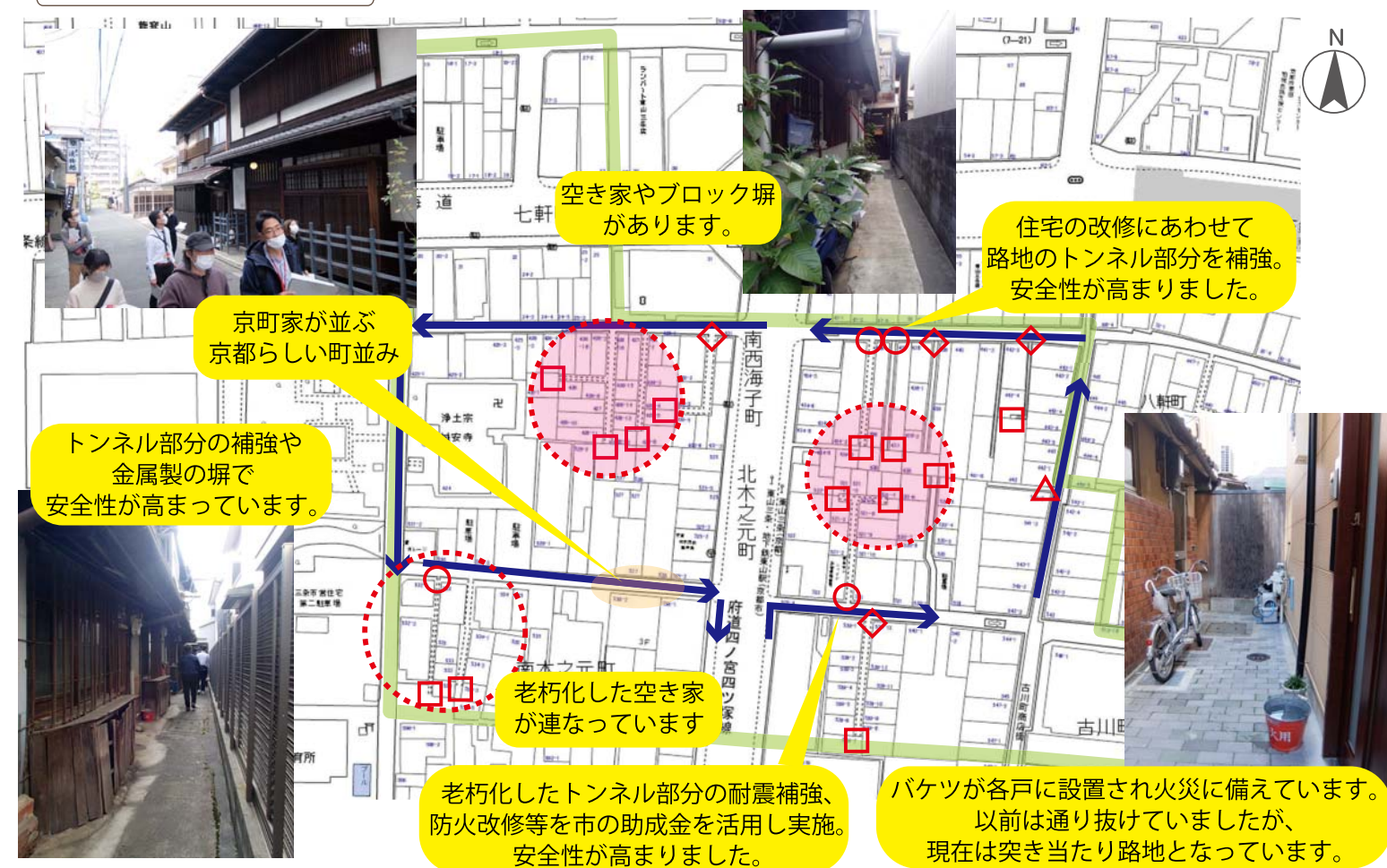
第4ブロック

土居之内町、八軒町、堤町、梅宮町南部、梅宮町北部を順に歩き、トンネル路地、ブロック塀、避難経路、改修されたトンネル路地などを確認し、安全対策について話し合いました。



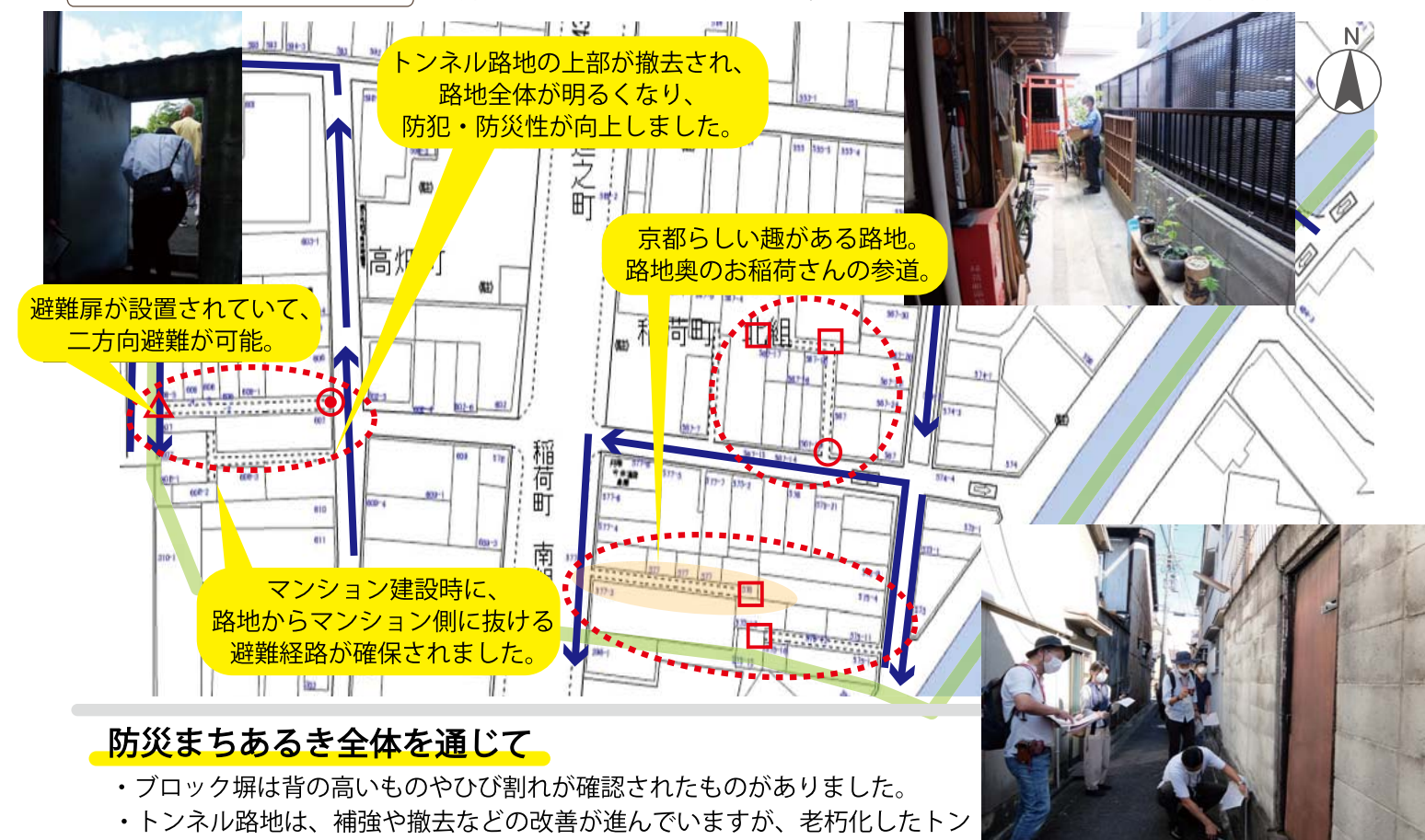
第6ブロック

古川町、七軒町、南西海子町、北木之元町、南木之元町を順に歩き、袋路、トンネル路地、避難経路、改修箇所、京町家の街並みなどを確認し、安全対策について話し合いました。



第7ブロック

唐戸鼻町、稲荷町北組、稲荷町南組、高畑町、進之町を順に歩き、袋路、ブロック塀、避難経路、路地の管理状況などを確認し、安全対策、管理方法について話し合いました。



防災まちあるき全体を通じて

- ・ブロック塀は背の高いものやひび割れが確認されたものがありました。
- ・トンネル路地は、補強や撤去などの改善が進んでいますが、老朽化したトンネル路地がまだ残っています。
- ・ブロック塀、トンネル路地の改修のための市の補助制度もありますので、活用をご検討ください。